

- 1 会議名 令和7年度第1回学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和7年7月14日(月) 10時00分から11時40分まで
- 3 開催場所 一関市立黄海小学校 会議室
- 4 出席者 葛城 行将(会長)、小野寺美紀、小野寺 公雄、千葉 松男、
熊谷 郁雄、熊谷 賢一、千葉 正志、菊池 知之(校長)、甘竹 浩枝(副校長)
◆欠席者：及川 清喜(副会長)、黄海千鶴子、伊藤 英、遠藤満智子
委員の互選により、会長、副会長を決定。
- 5 議題
 - ・令和7年度学校経営の基本方針及び重点について
 - ・令和7年度黄海小学校「まなびフェスト」について
 - ・今年度の地域とともにある学校づくりの重点活動について
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人
- 8 議事内容
 - ・学校より、方針や資料、1学期の学校の様子について説明。 → 委員により承認。
 - ・経営方針で「人間性豊かな児童の育成」とあるのは良いことだが、重点の1番目が学力向上、2番目が心の教育の充実となっている。優先順位を検討してほしい。
 - ・学力も大切だが、黄海小が喜んで来られるところにしてほしい。
 - ・親が「良い先生」と伝えること。親の批判が、この幸せを損なう。
 - ・原点や基盤となるのは、「信頼」、学校が楽しい場所となるよう、信頼関係づくりを進めてほしい。
 - ・藤沢小には、地域コーディネーターがいるが、黄海小にはいるのか。
→ 黄海小では、設けていない。学校が、直接地域と繋がっている。
 - ・校長や副校長が、授業に入り、みんなで支えているのは良い。雰囲気もわかる。
 - ・複式は2・3年生だが、異学年交流やたて割り活動は全学年で行っている。
 - ・黄海小でいじめがないのは、嬉しいこと。
 - ・小規模校には、小規模校の良さがある。先生方と子どもの結びつきが強くなる。児童数が少ないことは、デメリットではない。
 - ・収穫祭の位置づけは。早めに決めると、動きやすい。事前打ち合わせの必要。
 - ・保護者との関係づくり、校長を窓口としてどんどん話してもらおう。
 - ・黄海はまとまっているが、家庭環境等多様化が進んでいる。親の生活を優先している傾向もある。運動会等、地域と一緒にできるのは、何かアクションも。親に対する教育、啓蒙も。
 - ・黄海小の児童数は、減少。こども園の人数かなり減っている。(未就学児の実情も説明)
- 9 担当 黄海小学校 校長 菊池 知之 電話 63-2017